

かこい 便り (三財6区)



令和2年10月25日(日)、澄んだ青空が続く秋晴れの中、三財6区 団公民館にて、認知症に関する出前講座を行いました。

山口区長はじめ小森昭子民生児童委員や中武美恵子民生児童委員、区の福祉協力委員を含む総勢43名の方々にお集まりいただきました。

山口区長や西都市議会議員井上久昭氏のご挨拶の後、約1時間ほどにわたっての講話。はじめに、認知症の現状についてお伝えした後、「認知症に向き合う」というDVDと一緒に鑑賞いたしました。DVDの中で川崎幸クリニック院長の杉山孝博医師が次のように語っています。「認知症の人もその周囲の人も、よりよく生きていくためには、まずは『知は力なり』、認知症について正しい知識を持つことが大切である。また、認知症の人の接し方として、ひとりの大人として向き合い、その言動を否定しない。更に、介護はとても大変だが自分ひとりで抱え込まず周りの手を借りることが大切である。」と。

超高齢社会の今、誰もが認知症になる可能性がある、そんな時代になりました。あなたやご家族がたとえ認知症になっても、安心してこのまち西都で暮らすことができるよう、これからも地域の皆さんと一緒に考える機会を作っていきたいと思っています。

出前講座の後は、三財小学校6年「ひむか亭とびうお」こと長友悠馬くんによる落語「反対俵(ぐるま)」が披露されました。

この日の青空のような澄んだ明瞭な声が会場いっぱいに広がるとともに、笑いとお元気をいただきました。笑いで免疫力をつけ、インフルエンザや新型コロナウイルスに負けない身体づくりを今後もしていきましょう！

最後になりましたが、当日はたくさんの方がご参加くださり本当にありがとうございました。

※裏面にアンケート結果掲載中！



【本パンフレットに関するお問合せ先】

・西都市南地区地域包括支援センター TEL: 41-0511 (担当: 小牧)

三財6区のみなさまへ アンケートへのご協力をありがとうございました！

●アンケート回答者

・30名（男性8名 女性21名）

・年代

50代	60代	70代	80代	90代
3名	5名	9名	11名	2名
10%	17%	30%	37%	7%

●満足度

満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入
22名	5名	0名	0名	1名	2名
73%	17%	0%	0%	3%	7%

●参加してくださった方の声

- ・私も高齢で認知症半分以上になっています。
- ・思いあたる事があり、お義母さんの日記をみて、本人はたいへんな思いをしてる事がわかりました。涙が出てきました。
- ・大変良かったと思います。
- ・義母の事で大変満足でした。
- ・ありがとうございました。
- ・DVD～自分の生活とも合うこともあってよかった。講師さんのやさしい語り口で、ゆっくり拝聴することができました。
- ・昔の義母の事思い出し、こうすれば良かった、ああすれば良かったと思いました。
- ・初めてこういう機会に参加させて頂き、とても勉強になりました。自分も今後もとても心配ですが、親が高齢で身近だなと感じました。相手に対してイライラせずに対応するのは難しいだろうな～と思いますが、今日学んだ事を思い出し生かしていければと思います。
- ・VTRで良く分かりました。
- ・以前に認知症講座を受けたことがありましたが、今回DVDを取り入れてあり、よく理解できました。特に印象に残ったのが介護は合わせ鏡という言葉でした。私は気が短いので親の介護する時大丈夫かなと思いました。いろいろなサービスを利用して頑張ろうと思います（その時は）。
- ・私共2人共もう高齢なので認知症の事はいつも考えております。パズルなど新聞など楽しみにしています。なるべく字を書く様に努力はしています。
- ・分かり易かった。身につまされた。
- ・ビデオの内容が分かりやすく共感する部分いっぱいでした。勉強になりました。
- ・説明大変良かった。
- ・今回の様な講座にはすすんで聞く事が大変良いことと思います。
- ・家の母も94才で元気でいます。認知症ではありませんが、耳が遠く私の方がイライラして無視してしまうことが多くあり、これからの対応に役立つと思いました。
- ・今、認知症の母をみているので参加させてもらいました。大変良かったです。
- ・自分の事も心配になった。
- ・たいへん良く認知症の事がよく分かりました。また機会があれば聞きたいと思いました。
- ・落語も大変良かったです。
- ・公民館にて百歳体操等をしてもらいたい。認知症が気になり始めたので…。

